



広島市議会議員（東区）
山路 英男
yamaji hideo

山路 英男 政務調査事務所
〒732-0003 広島市東区戸坂中町6-49
TEL (082) 229-1515 / FAX (082) 229-1516

■事務所開所時間
午前9:00から午後3:00（土日祝は休み）

■現在の主な活動及び役職
自由民主党広島県連青年部長
広島市議会厚生委員会委員
広島市議会広報委員会委員
都市魅力づくり対策特別委員会委員
公益社団法人広島市視覚障害者福祉協会顧問
広島県ベストコントロール協会顧問
戸坂学区社会福祉協議会顧問

地元“東区”の街より発信

2015年夏号 Vol.3

山の手便り
やまのみちだより

facebookもやっておりますので、皆さん友達申請して下さい！

広島駅周辺の整備



広島駅とその周辺では、当地区を紙屋町・八丁堀地区と並ぶ都心の東の核に位置付け、広島陸の玄関にふさわしい「まち」への再生に向けた再開発や交通結節機能の強化が進められています。

南口のB・Cブロックでは、いずれも来年度の竣工を目指して、店舗やオフィス、分譲マンションなどが入居する再開発ビルの建築工事が進んでいます。

また、新幹線口の二葉の里地区では、区画整理による道路・公園等の整備が昨年3月に完了

し、病院やがん高精度放射線治療施設、データ通信施設などの建築工事が進んでいます。

こうした大規模開発の進む広島駅の南口と新幹線口を結び、駅周辺の回遊性の向上や交通の円滑化を図るだけでなく、活力とにぎわいを生み出すため、広島駅自由通路等の整備が進められています。

このうち、新幹線口ペデストリアンデッキについては本年度の完成を、新幹線口広場については来年度の完成を、自由通路については平成29年度の供用を

目指しています。

さらには、南口広場に路面電車が高架で進入する駅前大橋ルートを含む、南口広場の再整備等の取組を進めており、平成30年代半ばの完成を目指しています。

これらの取組により、広島駅周辺地区は近い将来、大きく生まれ変わることになります。さらに、高速5号線に関連する事業である中山踏切の立体交差事業も、本格的な工事着手に向け整地工事が完了し、引き続き早期完成を目指して事業が行われています。

視察報告

- ①石狩市地域防災計画の視察
- ②釧路市の防災対策について視察
- ③第52回重症心身障害児（者）を守る全国大会へ参加

①石狩市地域防災計画の視察

平成26年11月25日

石狩市は、津波、河川の氾濫や土砂災害等、地区によって起こり得る災害が異なる特性があり、地域防災計画の見直しと同時に、地域住民、事業者が参加して、平成25年3月に各地区の特性を踏まえた防災活動に関する計画である「地区防災ガイド」を市内8地区に分けて作成されていました。

②釧路市の防災対策について視察

平成26年11月26日

緊急地震速報を自動販売機を通じて音声で知らせる取組と、FMラジオを利用した防災情報伝達システムの視察を行いました。

これは、災害時に災害対応の特殊なラジオであれば、電源を切っても自動的に緊急放送起動信号（Jアラート）を受信すると、自動でラジオの電源が入り、その災害情報を伝えるというシステムでした。このシステムでは避難勧告などの音声や避難後のあらゆる情報もこのラジオで聞くことができる、多様な情報伝達手段の1つとして非常に有効な取組だと感じました。



災害警報ユニット内蔵の自動販売機

③第52回重症心身障害児（者）を守る全国大会へ参加

平成27年6月27日

「障害保健福祉施策の動向」や「地域における医療・福祉・教育の連携」についてなど

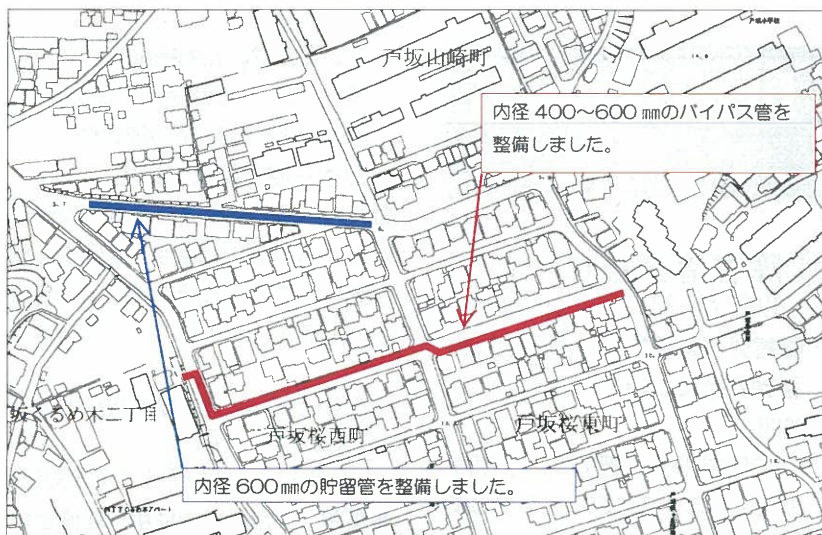
地域のことがら

きれいで安全な街づくり

雨水浸水対策工事

平成23年9月1日、戸坂地区の中でも低地盤部である戸坂山崎町付近において、集中豪雨により浸水被害が発生したことから、本会議において戸坂地区の浸水対策の必要性を質問させて頂きました。

その結果、浸水被害の解消のために、浸水区域での雨水を取り込むための貯留管の整備をしたほか、戸坂桜西町・戸坂桜東町の雨水バイパス管の整備を行い、この梅雨までに完成しました。



平成23年9月1日の浸水被害



一般質問

平成27年第3回定例会
(平成27年6月15日～6月26日)

平成27年6月23日の本会議において広島市議会自由民主党を代表し、一般質問をさせていただきました。

市民の皆様の声を市政に届ける事が、議員の使命の1つであり、その具体的な手段の1つが本会議での質問となります。本会議での質問は、今回の質問で5回目となりました。

公共交通機関の乗り継ぎについて（質問2）

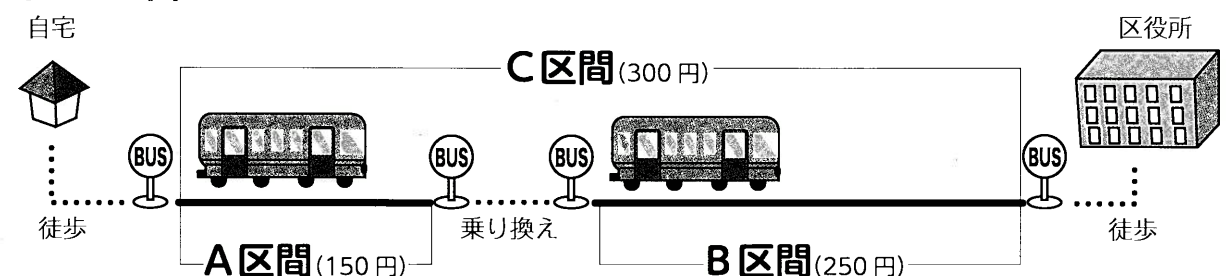
■質問 区役所に行く場合、例えばバスを乗り継いで行ったとしても、直通で行った時と同じ料金で目的地に行ける乗り継ぎ運賃割引が実現すれば、現在の広島市のバス路線は飛躍的に利便性が高まり、利用者も増えると思います。それが、2025年問題、

いわゆる団塊の世代が全員75歳以上になった時の交通弱者対策の1つになるものと考えますが、乗り継ぎ割引など、運賃制度の見直しを進めていくべきだと思いますが、どうでしょうか？

■答弁 利用者にとって利用しやすい運賃制度への見直しについては、利便性向上や公共交通の利用促進な

どにつながるものと考えています。「バス活性化基本計画」や「公共交通体系づくりの基本計画」に、こうしたわかりやすく使いやすい運賃体系の構築についても盛り込む予定としており、計画策定後は、交通事業者等と連携しながら、実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

イメージ図



現在は A区間150円 + B区間250円 = 400円
(それぞれの区間の距離で運賃が決まっている)

乗り継ぎ運賃割引を導入した場合

A区間 + B区間 = 300円 (C区間)
(例えばバス会社が違って、C区間の距離で運賃を決める)

今回質問した内容は、

- (1) 市長の所信表明について
 - ・翁童のバランスについて
 - ・障害者ニーズについて
 - ・平和への思いの共有について
- (2) 公共交通機関の乗り継ぎについて
- (3) 知的障害のある子供の教育について
- (4) 防災システムについて

今回、大きく4点の質問をさせて頂き、その中の(2)公共交通の乗り継ぎについてと(4)防災システムについてを詳しく説明させていただきます。

防災システムについて（質問4）

■質問 広島市において、多様な情報伝達手段の一つとして、コミュニティFMラジオ放送を活用した防災情報伝達システムの導入を検討してみてはどうでしょうか。

このシステムは、災害時に災害対応の特殊なラジオであれば、電源を切っていても自動的に緊急放送起動信号（Jアラート）を受信すると、自動でラジオの電源が入り、その災害情報を伝えるというシステムであり、また、避難勧告などの音声や避難後のあらゆる情報もこのラジオで聞くことができるなど、多様な情報伝達手段の1つとして非常に有効な取組です。

例えば、携帯を持っていない方、携帯を持っていても、広島市の防災

メールの設定の仕方が分からない方など、デジタル環境に弱い方などにとっては、身近なFMラジオによる情報伝達手段は、非常に有効な取組になるのではないのでしょうか。

また、普段は電源を切っていても良いわけですから、寝室に1台置いておくだけで安心される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

釧路市と静岡市では、既にコミュニティFMラジオ放送を活用した防災情報伝達システムの運用や貸与事業を始められています。

広島市においても、災害時に災害情報を速やかに発信していくための情報伝達体制の1つとして、検討してみてはどうでしょうか。

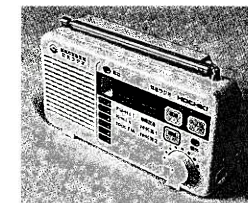
■答弁 防災情報は、市民がその情報に基づき適切に避難の準備や行動が行えるよう、伝えることが重要で

あると考えております。

本市では、市民への防災情報の伝達手段として、防災行政無線や防災情報メール、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、テレビでのテロップやデータ放送、緊急速報メール、サイレンなどの多様な媒体を用いて発信をすることとしています。

ご提案のFM放送を活用した防災情報の発信については、自動でラジオが起動して防災情報が聞けるなどのメリットがあるものと考えています。

今後、市民への情報伝達手段について、FM放送も含め幅広く検討してまいりたいと考えております。



静岡市提供

予算特別委員会で質問

①障害者施策について 平成27年2月26日（厚生関係）

・障害児（未就学児や小学生）の移動支援について

■質問

1. 小学生の移動支援について、個々の状況やニーズに応じもう少し柔軟に運用すべきではないか？
2. 利用できるサービスをしっかりと周知するべきではないか？
3. 療育目的やレスパイト（休息）目的での利用が出来るよう移動支援制度の緩和を検討してはどうか？
4. 居宅介護サービスのように、時間数に応じた区分を設定し、時間が

短い場合は、報酬単価を高くする事や、早朝など時間帯に応じた単価の上乗せをすることはできないか？

・日中一時支援について

■質問 日中一時支援の報酬単価が安く、事業者は採算性を確保する事が難しいので、報酬単価を上げることは出来ないか？

②市営店舗の使用料について

平成27年2月27日（建設関係）

■質問 市営店舗の使用料を値上げしたことにより、市営店舗の経営が悪化し、閉店せざるをえない状況になる可能性がある。特に、東浄団地の市営店舗や百田団地の市営店舗については、高齢化が進展する中で、市営住宅団地の利便性の確保や地域コミュニティの活性化という役割があり、市営店舗の使用料の改定に

あたっては、地域の実情を踏まえ、また経営状況に見合った使用料の設定を行う必要があるのではないか。

■答弁 委員ご指摘の東浄団地の状況を踏まえた課題については、全庁的に進めております住宅団地の活性化や我々が今行っております基町住宅の活性化に向けた取組みの中で、空き店舗の活用などについても検討を行っており、今後、どのような活性化を図ることができるか、考えていきたいと思っております。

③一般家庭ゴミの収集について

平成27年3月2日（経済観光環境関係）

■質問 戸別収集世帯の有料化は、市として重点的に取り組んでいる地域コミュニティの再生や町内会の加入率の向上につながるものと思うため、是非検討してもらいたいと思うがどうか。

一般質問や予算特別委員会で質問したこれらの質問・答弁は、広島市議会のホームページから録画中継としてご覧になれます。

